

候補者 酒井良 (一九五五年生)	■所属 高岡組 西雲寺	■所在地 愛知県豊田市住吉町前邸七十五番地	■被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第二条第一項第一号	■立候補の趣意 この度の宗議会議員選挙にあたり、引き続き多くの皆様からのご推挙をいただきました。この二期八年では、一期目当初は途惑うこともありこの重責を十分に果たせたか心許ないところもありましたが、少ないながら経験を積みつつ大過なく務めさせていただいたのではと感じています。この経験を生かし今一度務めさせていただきます、再度立候補いたしました。 これまでの議員活動を振り返れば、多くの皆様に少しでも宗教を身近に感じていただけることを大切な課題として、宗議会報告などの様々な機会を持たせていただきました。 我が宗門にとって二〇二三年にお迎えする宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要は、ただ一過性の法要とするのではなく、教学の振興と教化の推進に軸足を置き、同朋会運動を更に邁進する勝縁としていかなければなりません。そのためにも宗派では慶讃法要を機縁として行財政改革・宗務改革に取り組んでいます。 現代社会は不透明で先の見えない不確実な時代とされています。寺院を取り巻く環境も例外ではなく、宗教離れ寺離れが著しいとも言われています。実際に地域社会や家庭のあり方の著しい変化などにもないこれまで当たり前に伝わってきた宗風が途絶えつつあることに加え、この度の新型コロナウイルス感染症による現状は寺院にとつてさらに不安の増す状況です。個々の寺院や組・教区さらに教団を問わず現実の危機と捉えるべきです。この現状に鑑みれば、行財政改革は不可避と言わざるを得ません。 この改革はこれまでの宗門を見直し宗派の組織機構を新しく作っていく取り組みと言っても過言ではありません。「宗門の繁栄は一ヶ寺一ヶ寺の活性化が、一ヶ寺の活性化には宗門の充実が必要である」そのような視点を持って宗教に携わっていく所存であります。これまで多くの方々にご助力をたまりわり宗教に携わらせていただきましたが、今後ますます皆様からの現実に即したご助言ご意見が不可欠です。大谷派教団がよりよい方向に進むよう皆様と共に考えていく、そのような場に重きを置いていくことこそが大事なことを考えておりますので、なお一層のご助力をお願いいたします。 誠に言葉足らずではありますが私の立候補の挨拶とさせていただきます。皆様方の篤いご支援を心よりお願い申し上げます。 合掌 ■経歴 宗議会議員二期
候補者 杉浦明道 (一九五〇年生)	■所属 第25組 明勝寺	■所在地 愛知県豊田市上野町一丁目九番地	■被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第二条第一項第一号	■立候補の趣意 同朋会運動が始まって五十九年、新宗憲制定から四十年になります。そして今、それらの歩みの上に新たな出発をすべき時を迎えています。しかしながら、この絶好の機会においても、充分な総括がなされず、新たな展望が開かれないまま、宗門は混乱した時代社会に投げ出されています。 本来、大谷派の同朋会運動は、他の伝統教団にも見られた単に信仰運動ということではなく、教学に根ざした運動でありました。そして、教学的な確かめにおいてしっかりとした支柱が明確にあったはずです。しかし、それを見失っている宗門の現状があるように思えます。 換言すれば、五十九年前に提起された同朋会運動は、教団を守る運動ではなく、教団を挙げての教学運動、大乘仏教運動であったと言つてよいでしょう。だからこそ「人類に捧げる教団」と言われたのです。 いま宗門は、二〇二三年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要に向けて、その準備を進めております。宗務総長は、「立教開宗の精神」と「宗門存立の本義」に立ち返ると述べられています。が、はたして宗門はどのような慶讃法要を迎えようとしているのでしょうか。現代という時代の中で、宗門が社会に向けて、世界の人びとに向けていかなるメッセージを発することができるかが問われているのではないのでしょうか。 一九八一年、私たち教団は新宗憲を制定し、宗門の存在意義を「同朋社会の顕現」にあると見定め、また宗門の運営手法として「同朋公議」を採用することを表明しました。しかし、それから四十年経った今、私たちは、「同朋社会の顕現」を標榜する宗門として、社会に対してどれだけの働きかけをなしたのでしょうか。また内に対しても、「同朋公議」を教団運営の基本理念として宣言したにもかかわらず、どれほどの変革を実現したのでしょうか。教団内外の壁・僧俗の壁・男女の壁は厳然として存在し、住職中心・僧侶中心・男性中心主義はいたるところに見られるのです。それゆえ、「同朋の公議公論」の実現に向けて、より多くの宗門構成員の意見を柔軟に反映できる形に変えることで、宗門活動を活性化させ、宗門人の宗教参加を促すための基本的な土壌整備が必要であると思います。 このような願いをもって、宗教に関わる覚悟です。ぜひ、皆様方のご支援をお願い申し上げます。 ■経歴 宗議会議員二期
候補者 藤井宣行 (一九六二年生)	■所属 第4組 淨圓寺	■所在地 愛知県豊橋市大村町字黒下十九番地	■被選挙資格の区分 宗議会議員選挙条例第二条第一項第一号	■立候補の趣意 宗議会議員として、二期八年間務めさせていただき、その間、現在に至るまで四年九カ月にわたり大谷派参務の重責を担わせていただいていますことは、岡崎教区のお一人お一人のお力、諸賢のご支援、ご助言の賜物です。心より御礼申し上げます。 この度の宗議会議員選挙において、諸先輩方、友人諸賢より強い推挙をいただき、三期目の立候補を決意いたしました。つきましては、引き続き宗議会議員の任を担わせていただきたく、お一人お一人の更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。 宗門の現実を誤りなく直視し、宗門の将来を展望し、宗門に対する責任を担つてまいります。宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を機縁に、念佛者の教団として持続可能な基盤整備である宗務改革を推進いたします。多くの方が意見・助言・支援を下さっています。が、さらに多くの声に耳を傾け、皆様方とともに同朋社会の実現に力を尽くしてまいります。ご支援を賜りますよう重ねてお願いいたします。 選挙事務長 柏樹 利昭(第四組 正琳寺) 推薦届出人 杉浦 圭(第三十組 長興寺) 選挙運動員 大原 雅幸(第一組 法専寺) 安藤 誠也(第十五組 隨嚴寺) (推薦のことば) 宗門として大きな転機を迎えているこの時期に、宗門の現実を直視し、宗門に対する責任を担つていただいている人でありますので、引き続き宗議会議員に当選され、更なる活躍をされますことを期待し、各位に推薦申し上げます。 皆様方の厚いご支援をお願い申し上げます。 ■経歴 大谷大学真宗学科卒 教区児童教化連盟役員、教区教化委員、 選出教区会議員、第四組組長、 教区参事会員、教区宗祖親鸞聖人750回御遠忌委員会委員長、 教区会副議長、教区会議長など多数の役職を歴任 二〇一三年より宗議会議員(二期) 二〇一六年末より真宗大谷派参務

告 知 事 項			
1選挙発令の告示 岡崎選管告示第2号 2021年8月21日 岡崎選挙区選挙管理会 印 このたび、宗議会議員選挙条例第36条により下記のとおり発令されたので告示する。 記 1選挙の期日 2021年9月13日 2選挙人名簿の縦覧期間 2021年8月23日から26日まで 3異議の申立期間 2021年8月23日から26日まで 4立候補の届出期間 2021年8月30日から9月1日まで 5選挙運動の期間 立候補届出の日（受理後）から9月9日まで ----- 内達第6号 真宗大谷派宗憲第24条及び宗議会議員選挙条例第30条により、2021年9月13日に宗議会議員の総選挙を施行する。 2021年8月20日 宗務総長 但馬 弘 以 上		岡崎選管告示第4号 2021年8月30日 岡崎選挙区選挙管理会 印 来る9月13日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第39条第1項により告示する。 記 1候補者の氏名 杉 浦 明 道 2所属する寺院・教会の名称 第25組 明勝寺 3所在地 愛知県豊田市上野町1丁目9番地 以 上	
2選出すべき議員の定数 3人		岡崎選管告示第5号 2021年8月30日 岡崎選挙区選挙管理会 印 来る9月13日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第39条第1項により告示する。 記 1候補者の氏名 藤 井 宣 行 2所属する寺院・教会の名称 第4組 淨圓寺 3所在地 愛知県豊橋市大村町字黒下19番地 以 上	
3候補者の告示（掲載は届出順） 岡崎選管告示第3号 2021年8月30日 岡崎選挙区選挙管理会 印 来る9月13日施行の宗議会議員選挙に下記のとおり立候補の届出があったので、宗議会議員選挙条例第39条第1項により告示する。 記 1候補者の氏名 酒 井 良 2所属する寺院・教会の名称 高岡組 西雲寺 3所在地 愛知県豊田市住吉町前邸75番地 以 上		4無投票の告示 岡崎選管告示第6号 2021年9月1日 岡崎選挙区選挙管理会 印 来る9月13日施行の宗議会議員選挙は、宗議会議員選挙条例第88条により投票を行わない。 以 上	